

**十和田八幡平国立公園**  
**田沢湖高原スキー場**  
**田沢湖高原索道運送施設**

**廃止**

旧田沢湖高原スキー場跡地



すでに事業を取りやめ、施設を撤去し、森林への回復途上。  
また、今後も整備予定がない。

# 十和田八幡平国立公園 後生掛公衆便所

廃止

参考：後生掛駐車場・付帯公衆便所



すでに駐車場や博物展示施設の付帯施設として公衆便所が複数設置されており、公衆便所を公園事業として単独で位置付ける必要がない。

# 上信越高原国立公園 谷川地域の公園計画再検討等 に伴う整理



上信越高原

25件

決定  
5件

廃止  
5件

変更  
15件

谷川地域  
(青字全て)

- ・清水街道線道路 (歩道)
- ・天神平園地
- ・肩の小屋宿舎
- ・平標避難小屋

万座線索道運輸施設

万座地域

- ・法師温泉園地
- ・天神尾根宿舎  
(天神平園地に振替)
- ・谷川岳肩休憩所  
(肩の小屋宿舎に振替)
- ・法師温泉給油施設
- ・三国峠自動車運輸施設

- ・谷川岳道路 (車道)
- ・湯桧曾土合線道路 (車道)
- ・三国峠線道路 (車道)
- ・天神尾根線道路 (歩道)
- ・谷川連峰縦走線 (歩道)
- ・谷川岳園地
- ・三国峠園地
- ・川古温泉宿舎

- ・熊六沢避難小屋
- ・谷川岳休憩所
- ・谷川岳スキー場
- ・谷川岳索道運送施設

- ・菅平園地
- ・菅平運動場
- ・菅平宿舎

菅平地域

# 上信越高原国立公園

## 清水街道線道路（歩道）

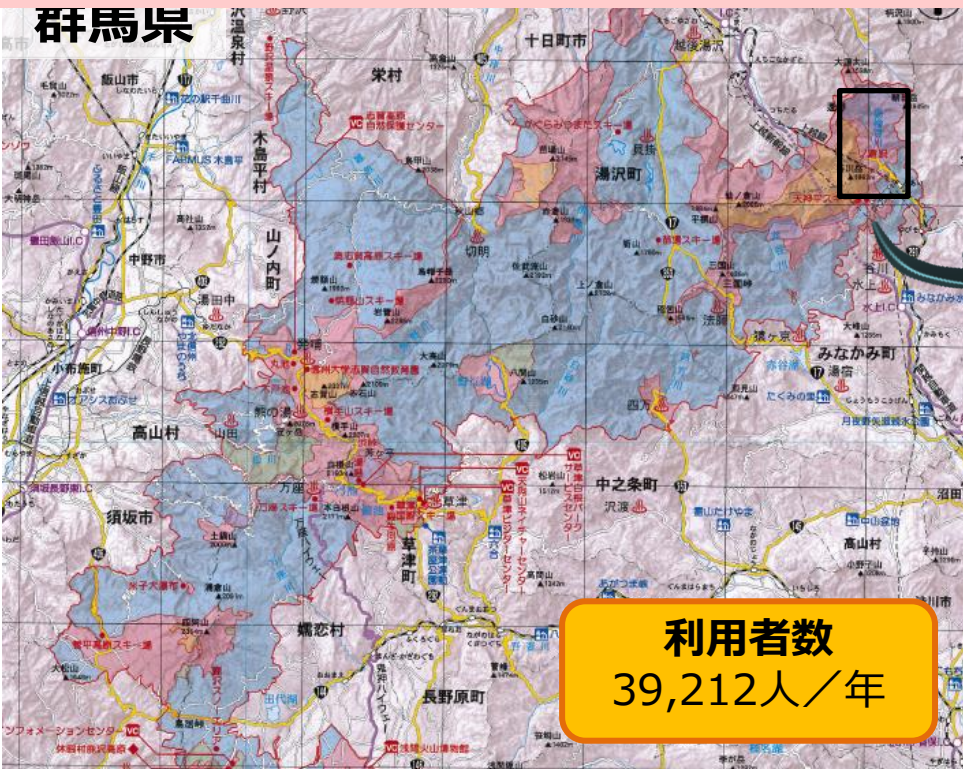
**決定**

路線距離：20km

執行予定：みなかみ町

特別保護地区、第1種特別地域、第2種特別地域  
(国有林→みなかみ町借地)

ブナ、サワグルミ等の広葉樹林  
ササ、ニッコウキスゲの風衝草原



- 新潟県へ通じる国道として明治18年に開通
- 現在は歴史を感じる旧街道の歩道として人気
- エコツーリズムの資源として整備、活用予定

## 既存施設の把握（歩道）

路線距離：20km

執行予定：みなかみ町



【みなかみ町】歩道の刈払い

一ノ倉沢出合い（標高850m）一ノ倉沢新道（標高750m）から  
蓬峠（標高1,529m）及び清水峠（標高1,448m）までの旧街道

# 上信越高原国立公園 天神平園地

## 決定

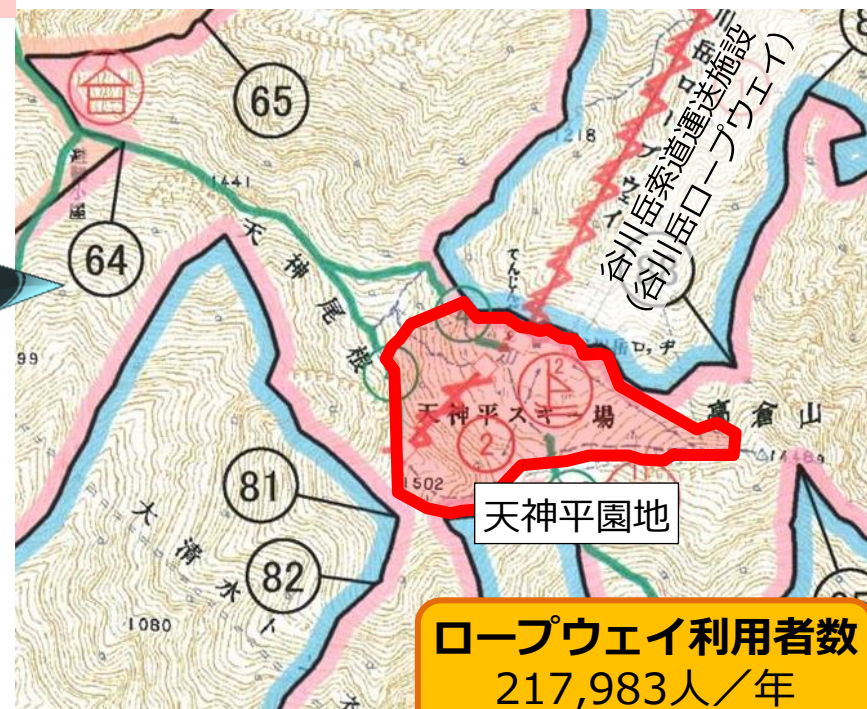
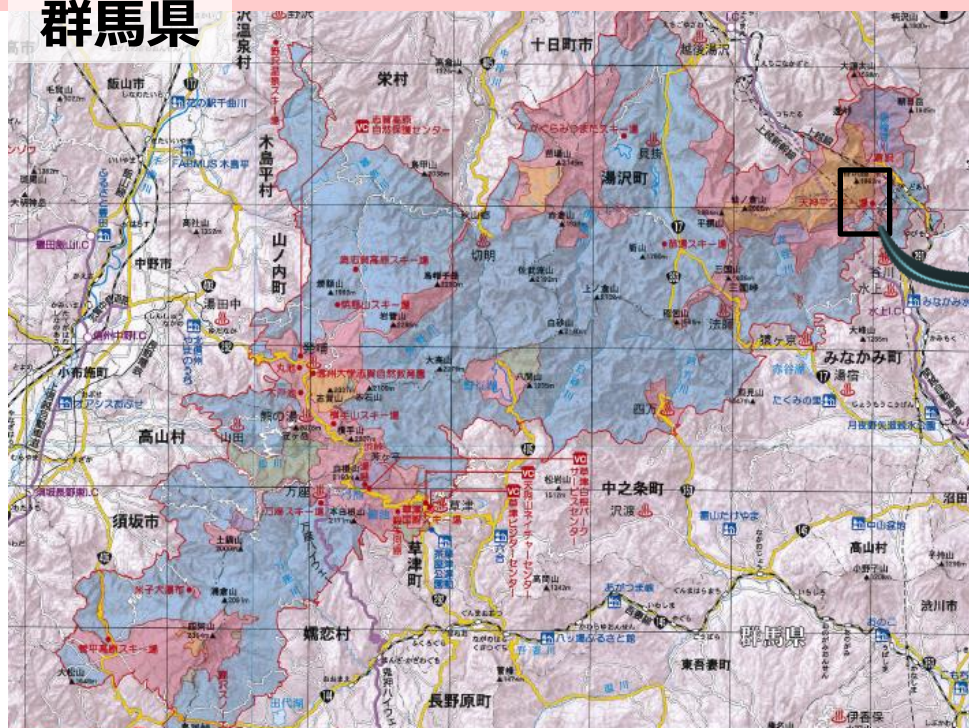
区域面積：24ha

執行予定：みなかみ町、民間

第2種特別地域  
(国有林→みなかみ町借地)

標高1,300~1,400mの自然草地  
ブナ、ミヤマナラの広葉樹林

群馬県



ロープウェイ利用者数  
217,983人/年

- 谷川岳ロープウェイの通年運行によるスキー場ゲレンデの散策利用が可能
- 谷川連峰等の眺望が良く高山植物のお花畑散策が手軽に可能
- 地元ガイドによる自然散策などのエコツーリズム利用が盛ん

## 既存施設の把握（園地）

区域面積：24ha

執行予定：みなかみ町、民間



### 谷川岳エコツーリズム推進協議会

（山岳団体、観光事業者、商工会等で構成）

がツアー等を実施

- 天神山、高倉山に囲まれたすり鉢状地形
- シラネアオイ、カタクリ等が生育する草原
- 眺望、お花畑、紅葉を目当てに散策利用が多く、エコツーリズムで活用されている

# 天神平園地

区域面積：24ha

執行予定：みなかみ町、民間

ズームアウト (Ctrl+-)

**カタクリ**  
開花時期：5月  
雪解けとともに開花する春を告げる花。下を向いた薄紫から桃色の花を咲かせる。

**クルマユリ**  
開花時期：7月～8月  
亜高山帯から高山帯の草地に生える。天神平から山頂付近まで鮮やかな色彩で目を楽しませてくれる。

**ミツコウキスゲ**  
開花時期：6月～8月  
山地帯から高山帯の草地に生える初夏の訪れを告げる花。

## 貴重な高山植物のお花畑をのんびりウォーキング♪

高倉山 1,449m  
カタクリ 群生地 (5月頃)

天神山  
ミズバショウ 群生地 (5月頃)

天神峠 1,502m  
展望台

至谷川岳

ニッコウキスゲ 群生地 (7月頃)

カタクリ 群生地 (5月頃)

湿生植物

ニッコウキスゲ 群生地 (7月頃)

エンコウキスゲ 群生地 (7月頃)

地下連絡通路 1,329m

天神平ヘアリフト(冬期)

天神平駅

ロープウェイ山頂駅

ビューテラスでんじん

シラネアオイ

ショウジョウバカマ

ミズバショウ

海老一ノムネ(海老味、(海老)ノムネ)

海老一ノムネ(海老味、(海老)ノムネ)

土合方面



# 上信越高原国立公園 肩の小屋宿舎

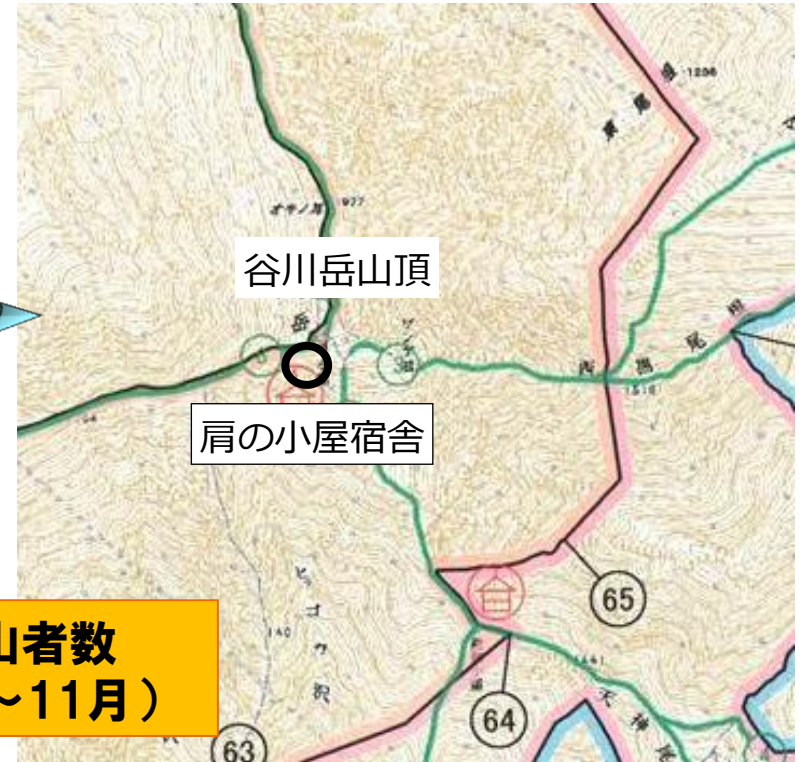
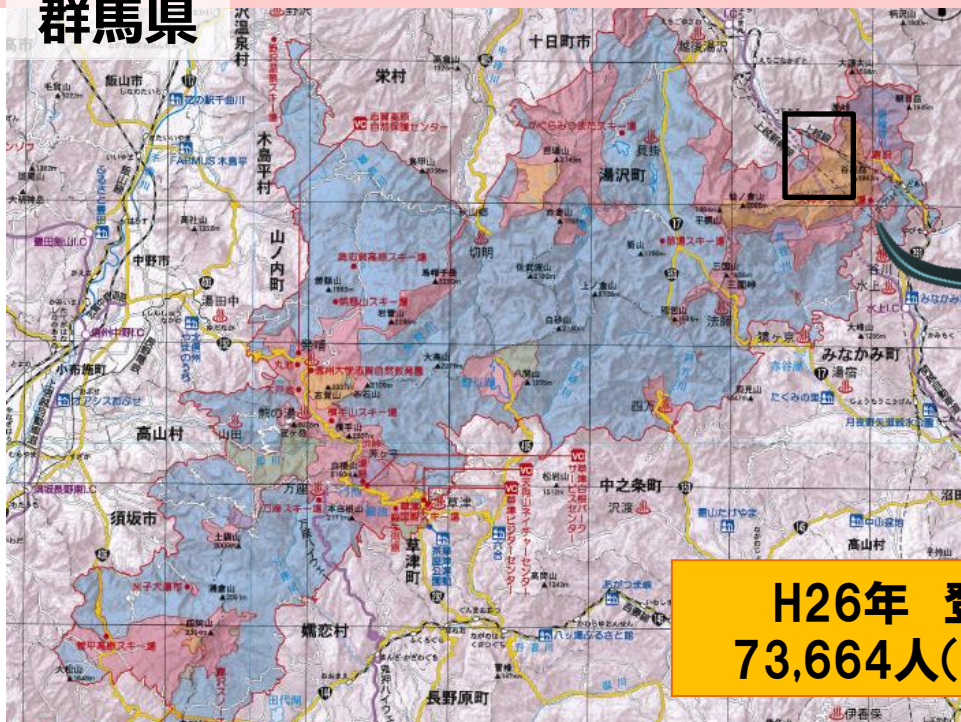
## 決定

区域面積：650m<sup>2</sup>  
執行予定：群馬県

特別保護地区  
(国有林→群馬県借地)

標高1,900mの森林限界  
ハクサンイチゲ等の雪田草原、ササ原

群馬県



H26年 登山者数  
73,664人(7~11月)

- 谷川岳唯一の有人宿泊小屋
- 天神尾根線、谷川連峰縦走線、谷川朝日縦走線、西黒巖剛線の各歩道の交差点
- 周囲の雪田には、ハクサンイチゲ、ハクサンコザクラ等の高山植物が生育

## 既存施設の把握（宿舎）

区域面積：650m<sup>2</sup>

執行予定：群馬県



- 谷川岳山頂付近の山小屋として多くの利用
- 宿泊、休憩、情報提供等のサービスを登山者に提供する、谷川岳登山の中継基地
- 平成5年設置、平成15年改修

# 上信越高原国立公園 平標避難小屋

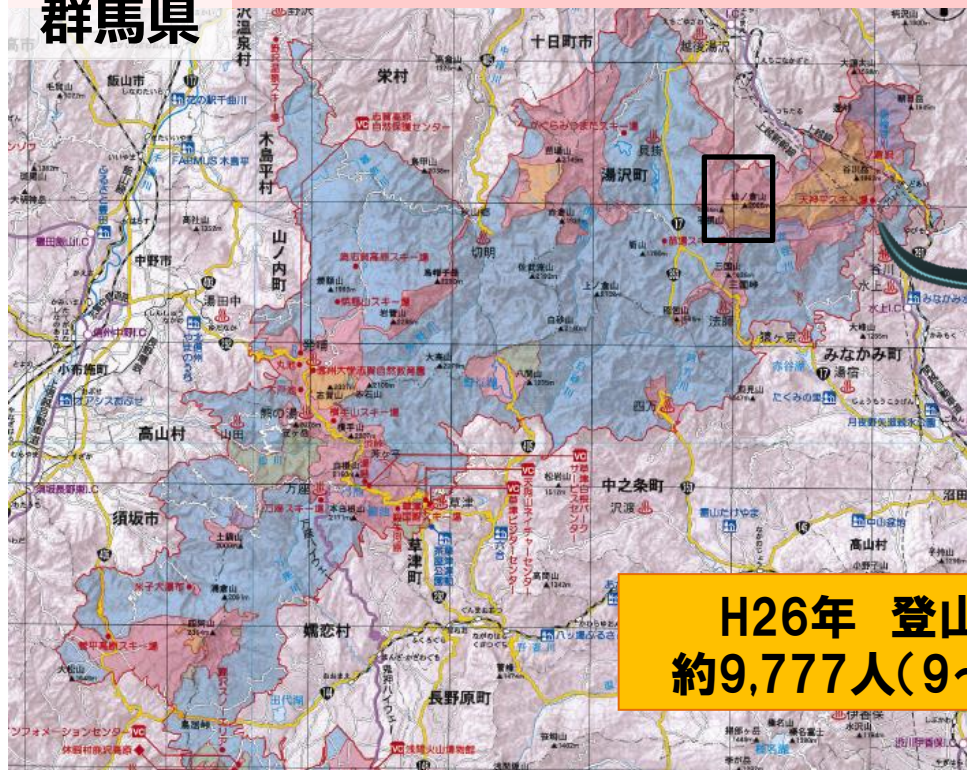
## 決定

箇所数：1箇所

執行予定：環境省

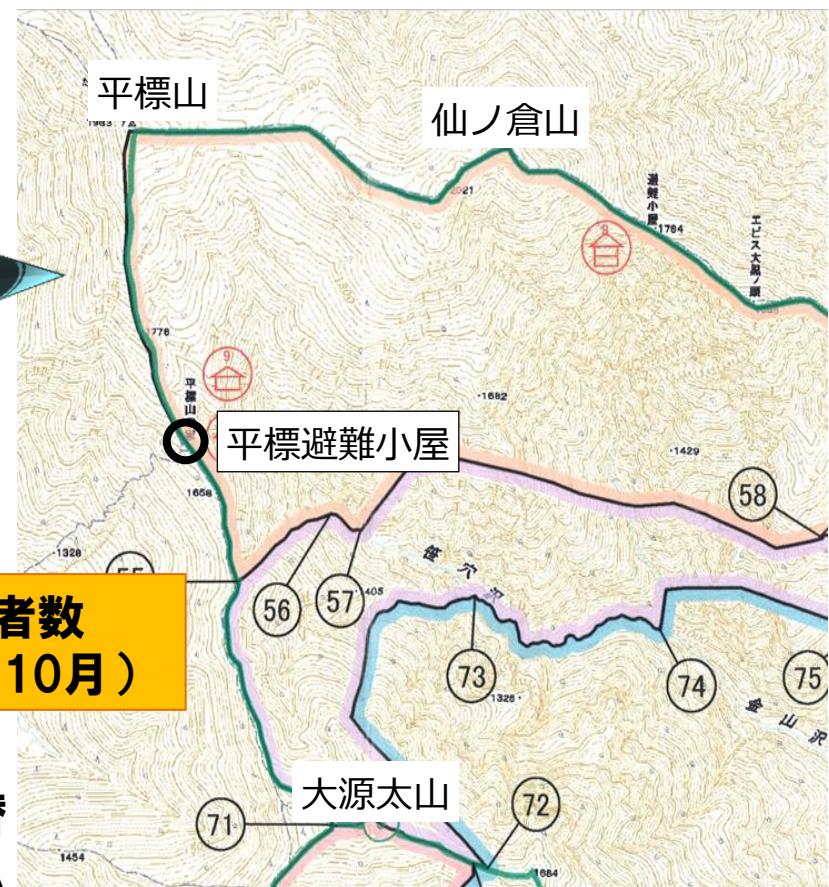
特別保護地区  
(国有林→環境省借地)

群馬県



H26年 登山者数  
約9,777人(9~10月)

ブナ、ダケカンバの広葉樹林、矮小低木、ササ原  
ハクサンイチゲ、ナンキンコザクラ等の高山植物



- 谷川三国線道路（歩道）付帯施設からの振替
- 平標登山、お花畑散策、縦走等の利用が多い
- 谷川連峰縦走線歩道、上信越自然歩道線の交差点

## 既存施設の把握（避難小屋）

箇所数：1箇所

執行予定：環境省



- 平成18年整備
- 周辺の山域では唯一のトイレが併設されている
- 縦走登山のほか、初夏のお花畑、秋の紅葉時期に特に多くの利用がある

# 上信越高原国立公園 谷川岳道路（車道）

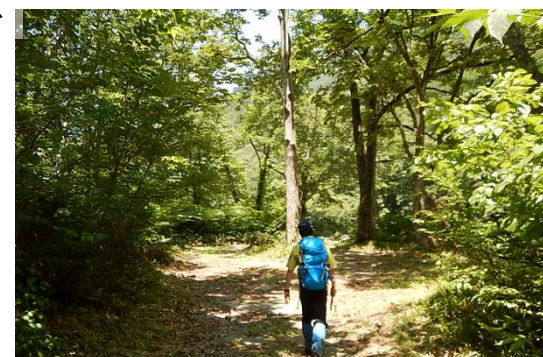
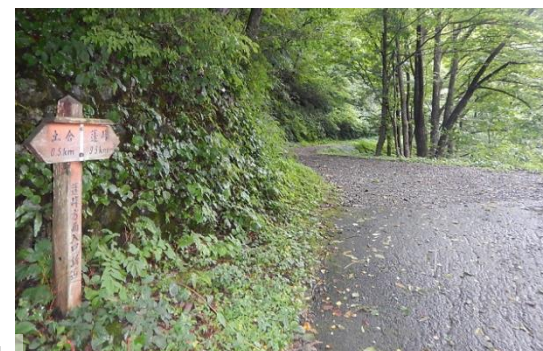
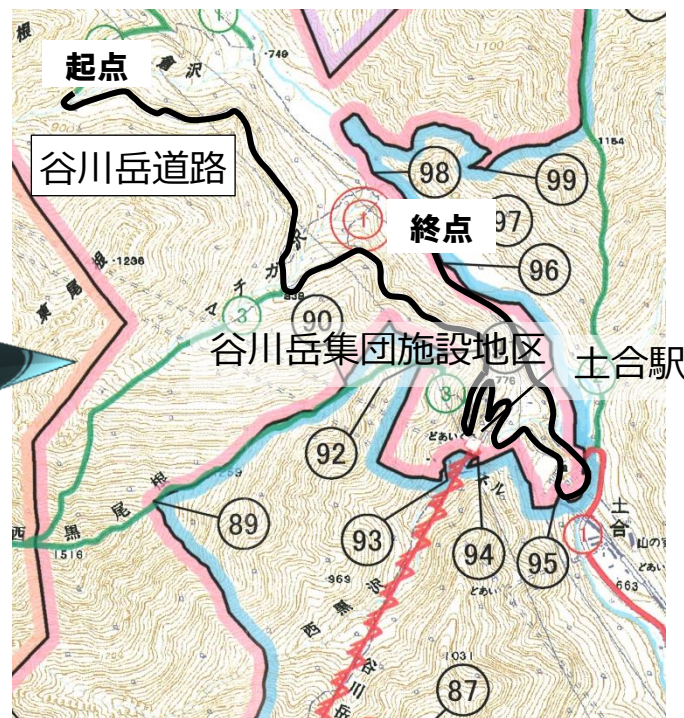
## 変更

路線距離：未決定→6 km

執行者：群馬県

第2種特別地域（国有林、国道→借地）

ブナ、サワグルミ等の広葉樹林



- 谷川連峰の主要拠点である土合口から  
マチガ沢付近を結び、谷川岳登山の主要なアクセス道路
- エコツアー等のトレッキングでの利用も見られる

公園計画再検討に伴い、集团施設地区への振替・事業規模の決定